

「愛媛における地域魅力再発見の取り組みの現状とこれからの課題」

松山大学は1923(大正12)年に設置された、旧制松山高等商業学校を前身とし、地域に根ざしながらも四国のリーディング・ユニバーシティとして100有余年、6学部7学科、大学院6研究科を擁する学生数約6,000人の中規模地方総合大学となりました。来る2027年度においては、人文学部グローバル・コミュニケーション学科、短期大学に地域マネジメント学科がそれぞれスタートする予定となっています。

昔も今も大学に課せられた使命の一つが研究とともに人材育成であることは言うまでもありません。しかし近年において大学を取り巻く環境は大きく変わってきました。少子高齢化の進展とリスクリング・リカレント教育の広がりです。「人生100年時代」を迎えた現代日本においては、すでに学習が先で仕事は後ではなく、交互に、そしてときには同時並行で取り組むべきものとなっています。「学び直し」は適宜必要とされる知識の更新作業であり、学び自体は年代を問わず、それぞれの充実した人生を送るためには欠かせない営みです。

本講座では、様々な形で観光まちづくりなど地域活性化に取り組んでおられる方々を講師にお招きし、皆さんの更に学びたいという気持ちに応えるべくワクワクする学習と交流の機会を提供いたします。本年も皆様のご参加をお待ちしております。

要項

開講日 2026(令和8)年9月2日(水)～2026(令和8)年10月28日(水) 全8回
 場所 松山大学樋又キャンパス2階 H2A 教室
 時間 18:30～20:00
 定員 **120名(受講希望者多数の場合は抽選とします)**
 受講料 **3,000円(今回から振込に変わります。)**

- ・受講料は税込みです。
- ・受講料の納入方法については受講許可・不許可通知の際にお知らせします。
- ・入金後にご本人の都合によりキャンセルされる場合は受講料の返金はいたしません。

対象者 愛媛県内に在住している18歳以上の方(高校生不可)

申込方法 HPでの申し込み



松山大学ホームページ

<https://www.matsuyama-u.ac.jp/social/shogaigakushu/culspo/>

または

スマートフォンの方はこちらへ



郵送での申し込み

はがきに次の事項を記載し、下記までお申し込みください。

- ①講座名(「松山大学・カルスポ公開講座」とご記入ください)
- ②氏名(ふりがな) **氏名のふりがなは必ずご記入ください。**
- ③性別、生年月日(西暦表記)
 職業(a. 公務員 b. 会社員 c. 自営業 d. 主婦 e. アルバイト・パート
 f. 契約社員(派遣・臨時含む) g. 大学生 h. 専門学校生 i. 無職 j. その他)

記号のみでも可。

- ④自宅の郵便番号・住所・電話番号(携帯電話番号でも可)
- ⑤自動車の乗り入れを希望する場合は、メーカー(車種)、ナンバー、申請理由をご記入ください。
- ⑥野外研修を申し込む場合は、「野外研修を申し込む」とご記入ください。申し込みは任意です。希望者のみご記入ください。

申込先 〒790-8578 松山市文京町4-2 松山大学 社会連携課

2026(令和8)年8月20日(木)【はがき…当日消印有効】【HPでの申込…17時まで】

申込締切 受講申込者数が定員を上回った場合は、抽選となります。受講の可否については締め切り後、申込者全員に対してお知らせします。また、受講を許可された方には、あわせて受講のご案内をいたします。

お知らせ 所定の回数以上出席された方には修了証を発行します。

修了証 松山大学社会連携課 山本・平田 TEL (089) 926-8246 E-mail: mu-renkei@matsuyama-u.jp

問合せ先 ※受講料に関するお問合せ: 公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団 TEL (089) 909-6154

※お申し込みいただいた方の個人情報は、本講座に関する連絡業務および今後の松山大学・カルスポ公開講座のご案内のみに利用させていただきます。

回数	日程	担当講師	テーマ・内容
1	9月2日(水)	日本興業株式会社 代表取締役社長 山口 芳美 (松山大学卒業生)	人を育て、会社を育てる ー女性社長が語る働く喜びと地域への貢献ー 松山大学で学び、現在は日本興業株式会社の代表取締役社長として経営を担う立場から、これまでの歩みと仕事観をお話します。人材育成、女性活躍、健康経営、地域や環境への貢献などを通じて、会社が持続的に成長するために何が大切かを、具体的な経験を交えて分かりやすくお伝えします。働くことの意味や、これからの時代に求められるリーダー像について一緒に考える講座です。
2	9月9日(水)	四国旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部 ものがたり列車推進室 室長 松岡 哲也	地域をつなぐ鉄道「デザイン」 観光列車「伊予灘ものがたり」が運行開始から11年を迎えます。90%近い乗車率で、多くのお客様にご利用いただいているこの列車は、いたるところでおもてなしをして下さっている沿線の皆様を支えられています。観光列車が走り出したことで生まれた、地域と鉄道とのつながりを、JR四国の列車など、鉄道デザインの観点からお話いたします。
3	9月16日(水)	一般社団法人 キタ・マネジメントCMO 兼 株式会社KITA代表取締役 井上 陽祐	愛媛県大洲市の歴史的資源を活用した観光まちづくりとインバウンドについて 愛媛県大洲市は鎌倉時代から城下町が形成され、風光明媚な伊予の小京都と呼ばれるような街並みがあります。近年この城下町の古民家を活用した観光まちづくりが進み、訪日外国人観光客(インバウンド)が急増しています。35棟もの空き家であった歴史的資源である古民家を活用することで面的にインバウンドを受入れ、効果的にPRを実施し、街を再生した方法や苦労について講義いたします。
4	9月30日(水)	道後温泉誇れるまちづくり 推進協議会会長 株式会社宝荘ホテル 代表取締役社長 宮崎 光彦	未来に繋ぐ道後温泉の観光まちづくり ～道後温泉2050ビジョンの実現に向けて～ 道後温泉では、これまでの景観整備と最先端アートのまちづくりを総括し、激変する旅行形態や新たな環境変化に対応する2050年を見据えた未来ビジョンを策定。「デジタル温泉都市」の構築など『日本最古の温泉地』に新しい価値を提供し続けていくための取組みについてお話します。
5	10月7日(水)	有限会社唐木(からき天ぶら店) 代表取締役社長 谷村 隆志	地域企業の挑戦と国際連携の可能性 からき天ぶら店の創業から現在までの歩みを通じて、地域に根ざした企業の成長と課題について具体的に紹介します。あわせて、人口減少や内需縮小といった地域経済の変化を踏まえ、今後の事業の在り方について考察します。その中で、海外との関わりや国際連携を通じて見えてきた新たな可能性を提示し、地域企業の未来について考える機会とします。
6	10月14日(水)	双海最高カンパニー株式会社 代表取締役社長 上田 沙耶	人口3,000人の町から、新しい日本の未来を 双海に来た理由、私たちがなぜ、何をしているのか、これから何をしていくのか、どんな未来を描いているのか。
7	10月21日(水)	八幡浜市 産業建設部 農林課 世界マーメイド大会推進室 宇都宮 勝博	世界マーメイド大会の開催を通じた かんきつ産業の振興・拡大による八幡浜の地域ブランド戦略 八幡浜市では2019年より、英国ダルメイン発祥の世界的なマーメイドのコンテストである「ダルメイン Worldマーメイドアワード&フェスティバル」の日本大会を開催しており、回を重ねるごとにその規模と認知度は拡大傾向にある。また愛媛県はかんきつ産地として全国トップクラスの生産量を有するが、その約半分の数量と40種類もの品種を産出する八幡浜の知名度は決して高くない。そこで世界マーメイド大会の開催を通じて、八幡浜の地域ブランドを振興・拡大し、持続可能な地域経済の発展を促進する。
8	10月28日(水)	松山短期大学 学長 松本 直樹	時間軸における意思決定問題とビジネス戦略 短期と中長期のそれぞれで意思決定の基準がどう変わるかについて、ゲーム理論と行動経済学を使って分かりやすく学習します。まず時間を通じてどう物事に取り組むべきか、意思決定問題として整理します。次に考え方を現実を引き付けて日常生活や地域社会の中で応用します。最後に議論をビジネス戦略として位置付け、内容をまとめます。

本事業は公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団の委託事業として松山大学が実施しています。



本公開講座は愛媛県生涯学習センター「学び舎えひめ悠々大学」対象講座です。